



現千葉県議会 副議長

岡村 やすあき



子育て

みんなで支える子育て社会・人権を尊重し差別の無い社会をつくることに努めます。

子育て環境の変化と
増える児童虐待

本県の出生率（合計特殊出生率）は、昭和六〇年頃から全国平均を下回り、少子化の進行が進んでいます。一方、本県の保育所整備は、遅れており、平成二一年四月現在で入所待機児童は、一二九三人となっています。

核家族化の進展、地域社会の弱体化など、子育てを行う環境は大きく変化しており、出産や育児に対する負担や不安が増えています。ゆとりを持って子どもを生み育てる為には、仕事と家庭が両立できる職場環境づくりが重要です。

また、本県の児童相談所における平成二十年度の児童虐待相談件数は二七四五件にもものぼり、虐待の発生予防、早期発見、早期対応、子どもの自立に至るまでの総合的な支援が必要です。（県総合計画参照）

現状を改善するため、私は次の子育て政策を推進します。



子育て支援体制の整備
仕事と家庭の両立

地域における子育て支援として、保育所の入所待機児童の早期解消と新たな保育需要への対応及びより質の高い保育環境の整備の為、保育士等の充実などの保育所への積極的な支援に努めます。

子どもの保健対策の充実及び保護者の経済的負担を軽減するため、子どもの医療費助成の充実を図ります。特に、「中学三年まで」の引き上げを図ります。

育児と仕事を両立させることのできる仕組みを整備し、男性・女性ともに、充実した仕事をしながら、ゆとりを持って子育てができ、だれもが能力をいかして働き続けられる職場環境の見直しを推進します。

児童虐待を予防するには、「乳幼児のぐずりは脳が急に発達する時。暖かく見守れば虐待は防げる。」という子どもの脳の発達を考慮した、社会的な育児支援が必要です。「子どもの成長と発達を理解して子育て支援ができる」ことをめざした地域におけるネットワーキングづくりを推進していきます。

子育て支援に関する重点目標

- ・子どもの保健対策の充実及び保護者経済的負担を軽減するため、子どもの医療費助成の充実を図ります。（中学3年生まで）
- ・保育サービスの充実を図るとともに、子育てを地域社会全体で支える環境の充実に努めます。
- ・育児と仕事を両立させる事のできる仕組みを整備することに努めます。また、出産・子育て等で離職した女性の再就職支援を推進します。
- ・男女の平等意識を高め、性別を問わず個人として尊重される施策の推進と体制の確立を図り、子育て環境の充実に努めます。
- ・児童虐待に迅速に対処するため、地域におけるネットワーキングづくりを進めます。

